【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年4月3日(2025.4.3)

【国際公開番号】WO2022/259884
【出願番号】特願2023-527611(P2023-527611)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/27(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/49(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/29(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/86(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/06(2006.01)
Ａ６１Ｋ 33/30(2006.01)
Ａ６１Ｋ 33/24(2019.01)
Ａ６１Ｋ 31/409(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/10(2017.01)
Ａ６１Ｑ 19/08(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/107(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/27
Ａ６１Ｋ　8/49
Ａ６１Ｋ　8/29
Ａ６１Ｋ　8/86
Ａ６１Ｋ　8/06
Ａ６１Ｋ 33/30
Ａ６１Ｋ 33/24
Ａ６１Ｋ 31/409
Ａ６１Ｐ 43/00 １０７
Ａ６１Ｋ 47/10
Ａ６１Ｑ 19/08
Ａ６１Ｋ　9/107

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月26日(2025.3.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）紫外線波長変換物質、及び
（Ｂ）下記一般式（Ｉ）に示すアルキレンオキシド誘導体
を含む、皮膚外用組成物：
$R^1O-[(EO)_m(AO)_n]-R^2$　　（Ｉ）
（式中、
ＡＯは炭素数３～４のオキシアルキレン基であり、
ＥＯはオキシエチレン基であり、
前記炭素数３～４のオキシアルキレン基と前記オキシエチレン基は、ブロック状に付加

していてもランダム状に付加していてもよく、
ｍ及びｎはそれぞれ、前記オキシエチレン基及び前記オキシアルキレン基の平均付加モル数であり、１≦ｍ≦７０、１≦ｎ≦７０、かつ０．２≦ｍ／（ｍ＋ｎ）≦０．８であり、
Ｒ^{1}及びＲ^{2}は、同一又は異なってもよい炭素数１～４のアルキル基又は水素原子であり、
Ｒ^{1}及びＲ^{2}のアルキル基数に対するＲ^{1}及びＲ^{2}の水素原子数の割合が、平均で０．１５以下である）。
【請求項２】
前記紫外線波長変換物質が、酸化亜鉛蛍光体、チタン酸マグネシウム蛍光体、及びフィコシアニンから選択される、１又は２種以上である、請求項１に記載の皮膚外用組成物。
【請求項３】
前記紫外線波長変換物質が、酸化亜鉛蛍光体及びフィコシアニンである、請求項１又は２に記載の皮膚外用組成物。
【請求項４】
前記アルキレンオキシド誘導体の前記オキシアルキレン基と前記オキシエチレン基が、ランダム状に付加している、請求項１又は２に記載の皮膚外用組成物。
【請求項５】
前記アルキレンオキシド誘導体の前記オキシアルキレン基が、オキシプロピレン基である、請求項１又は２に記載の皮膚外用組成物。
【請求項６】
前記アルキレンオキシド誘導体のＲ^{1}及びＲ^{2}がともにメチル基である、請求項１又は２に記載の皮膚外用組成物。
【請求項７】
前記アルキレンオキシド誘導体を１重量％以上含む、請求項１又は２に記載の皮膚外用組成物。
【請求項８】
油中水型組成物である、請求項１又は２に記載の皮膚外用組成物。
【請求項９】
細胞賦活用である、請求項１又は２に記載の皮膚外用組成物。
【請求項１０】
下記一般式（Ｉ）に示すアルキレンオキシド誘導体を有効成分とする、紫外線波長変換物質の紫外線波長変換機能促進剤：
$R^{1}O-[(EO)_{m}(AO)_{n}]-R^{2}$　　（Ｉ）
（式中、
ＡＯは炭素数３～４のオキシアルキレン基であり、
ＥＯはオキシエチレン基であり、
前記炭素数３～４のオキシアルキレン基と前記オキシエチレン基は、ブロック状に付加していてもランダム状に付加していてもよく、
ｍ及びｎはそれぞれ、前記オキシエチレン基及び前記オキシアルキレン基の平均付加モル数であり、１≦ｍ≦７０、１≦ｎ≦７０、かつ０．２≦ｍ／（ｍ＋ｎ）≦０．８であり、
Ｒ^{1}及びＲ^{2}は、同一又は異なってもよい炭素数１～４のアルキル基又は水素原子であり、
Ｒ^{1}及びＲ^{2}のアルキル基数に対するＲ^{1}及びＲ^{2}の水素原子数の割合が、平均で０．１５以下である）。
【請求項１１】
前記紫外線波長変換物質が、酸化亜鉛蛍光体、チタン酸マグネシウム蛍光体、及びフィコシアニンから選択される、１又は２種以上である、請求項１０に記載の紫外線波長変換機能促進剤。

【請求項１２】
前記アルキレンオキシド誘導体の前記オキシアルキレン基と前記オキシエチレン基が、ランダム状に付加している、請求項１０又は１１に記載の紫外線波長変換機能促進剤。
【請求項１３】
前記アルキレンオキシド誘導体の前記オキシアルキレン基が、オキシプロピレン基である、請求項１０又は１１に記載の紫外線波長変換機能促進剤。
【請求項１４】
前記アルキレンオキシド誘導体のR^1及びR^2がともにメチル基である、請求項１０又は１１に記載の紫外線波長変換機能促進剤。
【請求項１５】
紫外線波長変換物質の機能を促進するための、下記一般式（Ｉ）に示すアルキレンオキシド誘導体の使用：

$$R^1O-[(EO)_m(AO)_n]-R^2 \qquad (I)$$

（式中、
ＡＯは炭素数３～４のオキシアルキレン基であり、
ＥＯはオキシエチレン基であり、
前記炭素数３～４のオキシアルキレン基と前記オキシエチレン基は、ブロック状に付加していてもランダム状に付加していてもよく、
ｍ及びｎはそれぞれ、前記オキシエチレン基及び前記オキシアルキレン基の平均付加モル数であり、$1 \leqq m \leqq 70$、$1 \leqq n \leqq 70$、かつ$0.2 \leqq m/(m+n) \leqq 0.8$であり、
R^1及びR^2は、同一又は異なってもよい炭素数１～４のアルキル基又は水素原子であり、
R^1及びR^2のアルキル基数に対するR^1及びR^2の水素原子数の割合が、平均で０．１５以下である）。